

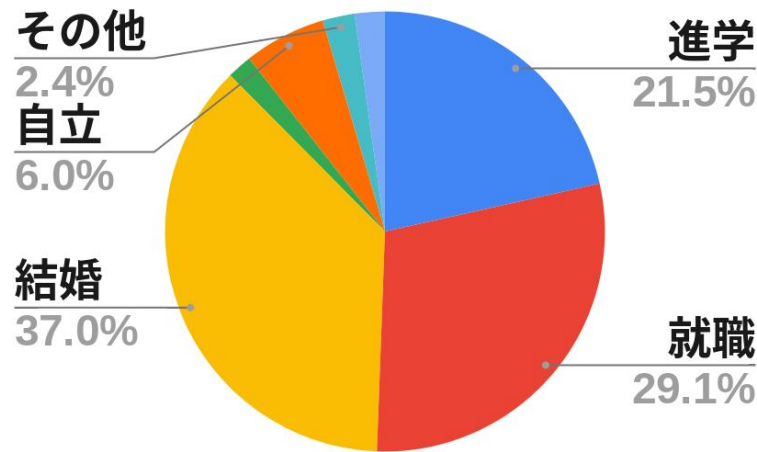
31H 藤澤 一帆 32H 山岸 穂乃実 35H 池永 絵美
 35H 能戸 日那汰 35H 三輪 大輔 36H 杉浦 拓真 36H 宮腰 光里

■課題 就職、進学時に多くの人が県外へ流出している。

■解決策 県内の高校、企業が県内の大学との結びつきを強め、人口流出を抑制する。

■現状(課題の背景)

グラフ1 県内から他県への流出理由



<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?tclass=000001047990>
 第七回人口移動調査 Estat

◎事例

「高大連携」※ 全国の状況

- ・岡山理科大学 参加高校: 県内の高校8校(県立5校、私立3校)、県外の高校3校
- ・和歌山大学 参加高校: 県内すべての公立高等学校生徒
- ・石川県では年1回「高大連携セミナー」がある。

石川県の事例は紹介されていなかった。

※高校と大学が連携して教育を行うこと。 daigaku23.com <https://www.daigaku23.com/entry/2018/11/06>

表2 県内の高校生・大学生の卒業後の就職地域

		2015	2016	2017	2018	2019
高校	県内	94.5%	93.9%	94.2%	93.9%	93.5%
	県外	5.5%	6.1%	5.8%	6.1%	6.5%
大学	県内	40.6%	37.2%	40.5%	38.2%	39.1%
	県外	59.4%	62.8%	59.5%	61.8%	60.9%

https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kikaku/keikaku/documents/r2_vision_honbun.pdf

- ・就職、進学などで他県に流出する割合が高い(表1)
- ・高校卒業後は県内に就職する割合が高い(表2)
- ・大学卒業後は県外に就職する割合が高い(表2)



**大学が人口流出抑制において
大きな役割を担うのではないか**

■具体的内容

高校と大学の連携

- ・大学レベルの研究や設備を体験する
- ・大学の教授から多数の分野(社会・環境・文化など)のお話を聞く
- ・共同で観光地(カフェや公園など)を企画する

◎太田市立太田高校と共愛学園前橋国際大学
 共同授業を受けることによって、
 大学の単位が認定される

<https://souken.shingakunet.com/secondary/2021/10/case3.html>

<https://www.irasutoya.com>



大学と企業の連帯

- ・共同で新商品の開発、技術革新に取り組む
- ・能登の企業のインターンシップを促進する
- ・地元企業が大学生へ地元企業で働くことのよさをプレゼンする

◎福井大学

学生を対象に地元企業へ見学バスツアーや
 個別企業説明会の実施



<https://www.irasutoya.com>



地元企業に就職希望の学生の
 地元企業就職率**ほぼ100%**

<https://sdgs-compass.jp/column/1997>

■効果

高校と大学の連携によって

県内大学の魅力を間近で感じられる・将来の進路について考える機会となる

県内の大学に入学する人が増える



大学と企業の連携によって

地元企業にとって有力な人材を創出できる

地元で就職する人が増える

地域の発展が進行する



人口流出抑制

<https://www.jtbbwt.com/business/trend/detail/id=2171>